

学級・学年・学校支援につながる
スクリーニング（実践編）

糸満市教育委員会
指導主事 當山 誠



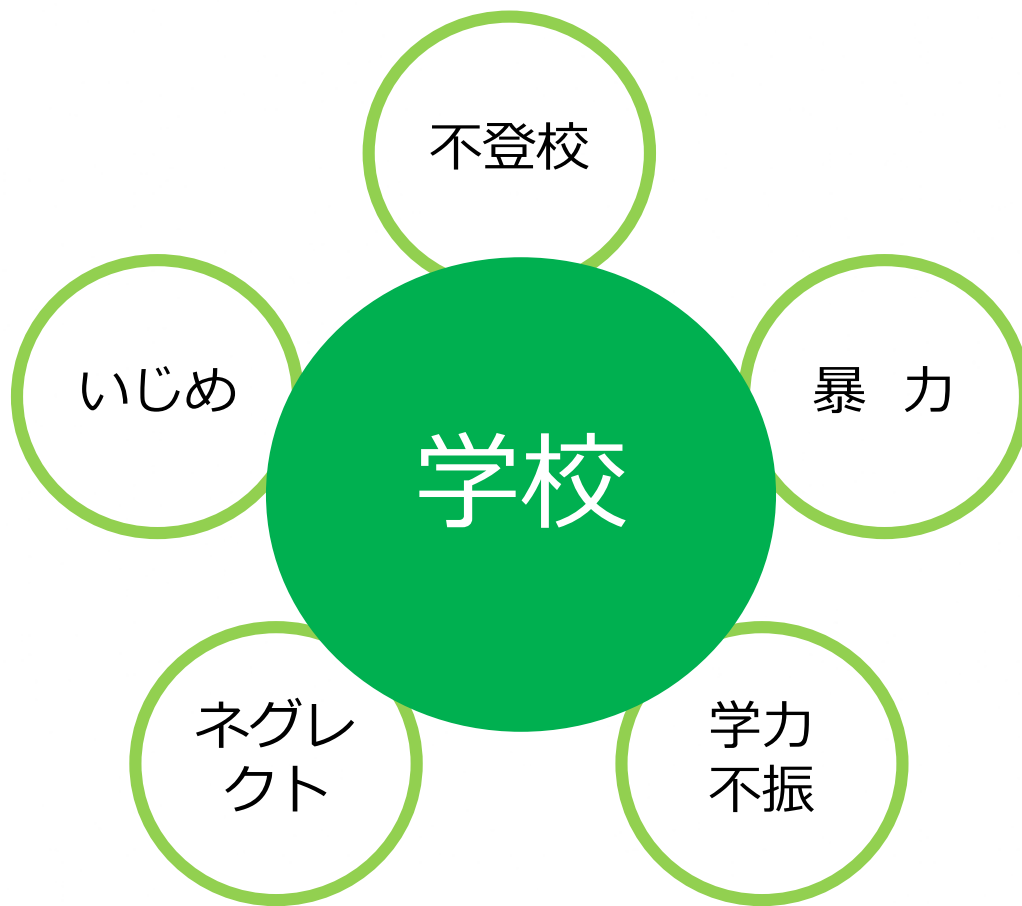
独立行政法人教職員支援機構

目次

1. 学校の課題
2. スクリーニングの流れ
3. スクリーニングシート
4. スクリーニング会議
5. 校内チーム会議
6. 支援の事例
7. 成果と課題
8. 今後の活用について

1. 学校の課題

学校が抱える課題



どの程度が問題？
どうすればいいの？
1人では判断が難しい…



スクリーニング

2. スクリーニングの流れ

スクリーニングの基本的な流れ

5月

職員への周知

スケジュール確認

他機関への依頼

6月

理論研修

シート入力

7月

スクリーニング会議

校内チーム会議

支援の実践

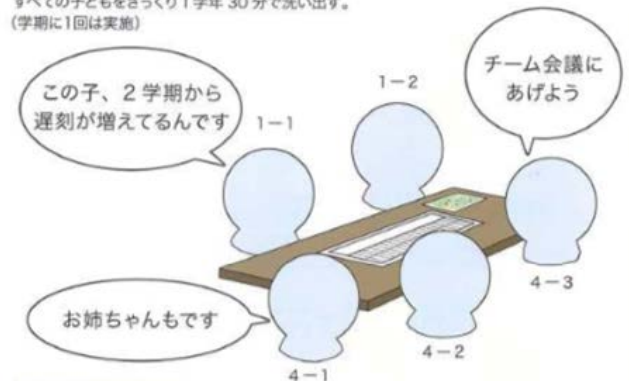
色を付けた部分
のサイクルを
各学期ごとに
繰り返し実施

4. スクリーニング会議

スクリーニングの会議の概要

学校版スクリーニング ② スクリーニング会議とは

すべての子どもをざっくり1学年 30分で洗い出す。
(学期に1回は実施)



ツール① スクリーニングシート

全児童生徒について、担任・養護教諭・事務職員・管理職などが、入カールに従って数値を入力する。(2=とても気になる)

校内の各所が把握している遅刻や保健室データを一本

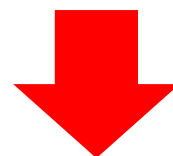
合計
6点

会議構成

学年会議

隣学年グループ

低・中・高学年グループ



チーム会議に
あげる児童



教員の
ワンポイント対応

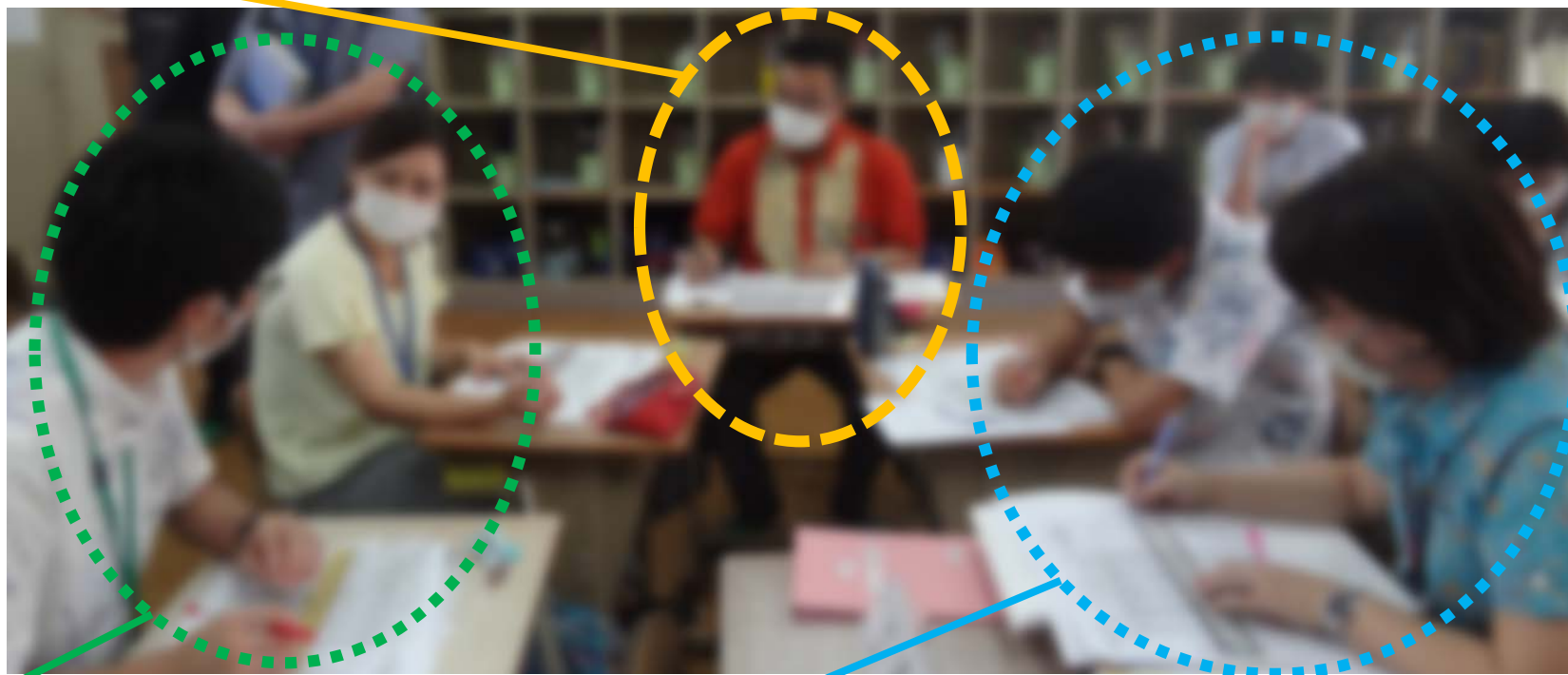
担任や気づいた人の主観で決める
のではなく、複数人で判断する。

4. スクリーニング会議

スクリーニング会議での役割

ファシリテーター

事前のシート確認 議論の進行 支援の方向性ファシリテート



学級担任

YOSSシートを基に児童の説明

隣のクラスの学級担任

YOSSシートを見ながら支援方法を模索

4. スクリーニング会議

学級支援

スクリーニング会議の様子①

【担任の説明場面】

この児童は重点の6番（身だしなみ）のところに1点をつけています。前年度、生活改善が必要ということで、児童の母に声をかけて改善を促したそうです。しかし、母が逆に怒ってしまい、改善できていません。今年度もスクリーニングにあげました。夏休みの個人面談の時に、話ができればと思っています。



4. スクリーニング会議

学級支援

スクリーニング会議の様子②

【ファシリテーターが話す場面】

この児童については兄弟も含めて「家庭との連携」や「むし歯の多さ」が気になるので家庭への支援も考慮して、地域資源の活用を促したほうが良いと私は感じましたが、どうですか？

SSWも協力して、フォローしてあげて家庭支援を試みたいと思います。支援（C）の方向性でチーム会議にあげてはどうですか？

校内チーム会議に
あげることが決定

C 専門機関の活用

ファシリテーター

隣のクラスの
学級担任

⑫学力

2点

⑰家庭連携

2点

⑳う歯

2点

㉟要保護

2点

合計

8点

3. スクリーニング会議

学級支援

スクリーニング会議の様子③

【隣のクラスの学級担任が話す場面】

Eさんは「周りの雰囲気を感じ取れない、言葉遣いに課題がある」と、担任からの説明があったので、丁寧な言葉遣いで、私達、となりの担任が声をかけていった方がいいかと考えています。

Eさんへの丁寧な声かけ

A 教職員の関与が決定

ファシリテーター

隣のクラスの
学級担任

学級担任

⑬授業様子

2点

⑯持ち物

1点

⑰家庭様子

1点

⑳発達診断

1点

合計

5点

5. 校内チーム会議

チーム会議の概要

学校版スクリーニング ③ 校内チーム会議とは

チーム会議



スクリーニング会議

チーム会議に
あがる児童 & 教員の
ポイント対応

A 教職員の関与

- 学年団
 - 担任
 - 養護教諭
- 等のアプローチ

B 地域資源の活用

- 学習支援
 - 居場所
 - 子ども食堂
 - 地域人材
 - 家庭教育支援
- 等の活用

C 専門機関の活用

- 児童相談所
 - 家庭児童相談室
 - 少年サポートセンター
 - 教育センター
 - 福祉制度
- 等の活用

ケース
会議

5. 校内チーム会議

校内チームの会議の構成員

スクールソーシャルワーカー (SSW)

家庭児童相談室も交えてケース会議を開きましょう。

養護教諭

食生活が気になる。こんな話、こんな場がないと話す機会がなかった。

担任

お母さんにいつも良い所を見せようとするから、学校ではしんどそうなんだ…。

スクールカウンセラー (SC)

スクールサポーターの方に協力してもらえるかもしれませんね。

特別支援
コーディネーター

教頭
生徒指導

支援の方向性

A 教職員の関与

- 学年団
- 担任
- 養護教諭等のアプローチ

B 地域資源の活用

- 学習支援
- 居場所
- 子ども食堂
- 地域人材
- 家庭教育支援等の活用

C 専門機関の活用

- 児童相談所
- 家庭児童相談室
- 少年サポートセンター
- 教育センター
- 福祉制度等の活用

ケース会議

5. 校内チーム会議

学校支援

校内チーム会議の参加者



5. 校内チーム会議

校内チーム会議に取り上げる児童数について

【大規模校の例】

第1回（7月）

スクリーニング会議であがった児童

85名

B,Cに絞る
23名

支援策A B Cの中から
支援策Aの児童を省く



学年や学校で対応

校内チーム会議
15名

現在他機関と連携
している児童を省く

第2回（1月）

スクリーニング会議であがった児童

50名

B,Cに絞る
20名

校内チーム会議
7名

基準を決め
話し合う
児童を絞る

5. 校内チーム会議

校内チーム会議のアイテム

支援方法の詳細



事業		概要	担当課	
こどもの未来支援事業	こどもの居場所	ゆいと(委託)	学習定着支援+食事支援(月~金)	こども未来課
		糸満がじゅまる児童センター	学習定着支援(火・木)+食事支援	
		がじゅまる学習支援		
		西崎太陽児童センター	子ども食堂(毎週土曜日)	
		ふらっとこうえん前	子どもの居場所(月~金)	
	いっほ(委託)	不登校、ひきこもり児童生徒対象	学校教育課	
	自立支援教室希望(のぞみ)	不登校、非行傾向、ひきこもり児童生徒対象		
	子ども支援サポーター(5名)	子どもの貧困に関する地域の現状を把握し、関係機関との情報共有や子どもを支援につなげるための調整等を行う	こども未来課	
	糸満がじゅまる児童センター 西崎太陽児童センター	健全な遊びを通して子どもの健康を増進し、情操を豊かにする	こども未来課	
	家庭児童相談室	子育ての様々な問題点や悩みについての相談対応		
	婦人相談	女性の様々な悩みについての相談対応		

校内チーム会議の様子

支援策（B）居場所の利用→拒否
母親の困り感があがってこない

11月出産
であれば...

今後、母親に対して、「赤ちゃん訪問」の機会があるので、そこで保健師の方から家庭の困りごと聞くのはどうですか。家庭児童相談の方から健康推進課の方に情報提供すると、支援につながるかもしれません。

こども未来課

「赤ちゃん訪問」
保健師が母親から家庭の
困り事を聞くことが決定

学校が介入しにくい家庭への
支援や制度の選択肢が増えた

3. スクリーニングの実践

校内チーム会議による支援の決定

決定事項	その他	進行状況
<p>① (C 専門機関) この家庭の支援が市として可能か調べる。支援方法を検討。〈こども未来課〉</p> <p>② (C 専門機関) 学校が家庭児童相談室利用の提案。〈学校・こども未来課〉</p> <p>③ (C 専門機関) 登校状況における生徒指導事案として、協議を行っていく。〈教育委員会〉</p>	<p>家庭への支援が入ることに母親の反応は？</p>	
<p>① (B 地域資源) 児童館を見てもらい、今後の利用を検討してもらおう。お母さん支援にもつながるのでは。〈小中アシスト・午後の時間に〉</p> <p>② (A 教職員の関与) 検査を受けるよう促す。〈学校〉</p>	<p>個別の環境を求めている →居場所での対応の難しさ 摂食障害</p>	
<p>① (C 専門機関) 学校での面談の際、未来課サポーターにも同席してもらい、母親の相談にのる。〈学校・こども未来課〉</p> <p>② (B 地域資源) ○クラブ○先生に連絡を取り、学校で相談。〈居場所〉</p>	<p>場面緘黙、自閉症スペクトラム・不安障害→特別支援の自閉・情緒学級希望</p>	

決定事項と進捗状況の可視化

6. 支援の事例

支援の事例①

低学年
男児

14
点

状況

- ・ 問題行動
- ・ 家庭状況
- ・ 発達
- ・ 保護者対応（難）

学校

- 学習支援員が関わる
- 居場所紹介（拒否）

支援策 C

こども未来課

- 母親とつながる子育て

健康推進課

「赤ちゃん訪問」

シート入力

学級支援

スクリーニング会議

学年支援

校内チーム会議

学校支援

他機関との連携

新たな
支援方法

6. 支援の事例

支援の事例②

高学年
女児

15
点

状況

- ・ 不登校
- ・ 虫歯
- ・ 家庭環境
- ・ 要保護
- ・ アンケート

学校

- 家庭訪問
- 中学校合同ケース会議

支援策 C

こども未来課

- 子育ての相談

社会福祉課

- 生活改善の支援

シート入力

学級支援

スクリーニング会議

学年支援

校内チーム会議

学校支援

他機関との連携

新たな
支援方法

7. 成果と課題

成果①

見えていなかった
児童の把握と支援

他機関との連携

学校が介入しにくい家庭
への支援や制度紹介

支援を効率よく構築する
ことに有効である

チーム会議にあげた児童

第1回 **85名** → 第2回 **52名**

不登校児童数

R元年度 **18名** R 2年度 **6名** R 3年度 **13名**

成果②

見えていなかった
児童の把握と支援

他機関との連携

学校が介入しにくい家庭
への支援や制度紹介

支援を効率よく構築する
ことに有効である

地域資源や 居場所の活用

- 適応指導教室
(教育委員会)
- 子供の居場所支援事業
(こども未来課)
- ★ 自立支援室
(こども未来課・教育委員会)
- ★ 無料塾 (こども未来課)
- ★ 児童館 (こども未来課)

成果③

見えていなかった
児童の把握と支援

他機関との連携

学校が介入しにくい家庭
への支援や制度紹介

支援を効率よく構築する
ことに有効である

◇保健師による赤ちゃん訪問
→母親の家庭での困り感把握

◇居場所からの
「習い事体験事業」の提案

◇市のポータルによる自宅訪問
→ひとり親世帯の制度紹介

◇母親の相談場所を広げる
→家庭児童相談
→婦人相談
→生活改善の支援

など

7. 成果と課題

成果④

見えていなかった
児童の把握と支援

他機関との連携

学校が介入しにくい家庭
への支援や制度紹介

支援を効率よく構築する
ことに有効である

令和3年度 実施

1 学期
チーム会議

9名

2 学期
チーム会議

10名

3 学期
チーム会議

8名

合計 **27名** の支援を構築

もし、27回のケース
会議を行うと、多大な
時間がかかる

課題

時間の確保のための業務改善

チーム会議のスリム化

支援の進捗状況の把握

8. 今後の活用について

スクリーニングの習慣化

**点数
意識化**

3月の生徒指導 教育相談会議での報告事項 資料1

学級の実態について 年 組
スマイル (組)
大空 (組)
言語

1 気になる児童状況について(欠席が(不登校・長期欠席児童含む)や気になる体目(コロナ関連でも出席が多い等)の児童を記入または相席
毎日出席確認している児童は、欠席が少なくても記入してください。
※今学期は10日以上欠席した児童がいれば通知してください。

氏名	欠席理由(登校欠席や家庭訪問したからでも記入)	2月の出席	2月の欠席 (出席数)	今年度欠席累計 (欠席の合計)
			欠席() 事欠()	累計() 出席()
			欠席() 事欠()	累計() 出席()
			欠席() 事欠()	累計() 出席()
			欠席() 事欠()	累計() 出席()

2 問題行動の報告 (内容が多かったら別紙でも大丈夫です。)

氏名	問題行動の内容 (Oで囲ってください)	具体的な内容(様子) 日付、被害者と加害者とのトラブルになった原因などを記入してください。 何回かあった児童は、回数も記入してください。
被害児童名	対教師暴力 生徒間暴力 対人暴力 万引き 器物破壊 金銭せびり 喫煙	スクリーニング点数が高い子は記入(点) 月 日() いじめの回数(回目)
加害児童名	飲酒 家出 深夜徘徊 いじめ その他()	
被害児童名	対教師暴力 生徒間暴力 対人暴力 万引き 器物破壊 金銭せびり 喫煙	スクリーニング点数が高い子は記入(点) 月 日() いじめの回数(回目)
加害児童名	飲酒 家出 深夜徘徊 いじめ その他()	
被害児童名	対教師暴力 生徒間暴力 対人暴力 万引き 器物破壊 金銭せびり 喫煙	スクリーニング点数が高い子は記入(点) 月 日() いじめの回数(回目)
加害児童名	飲酒 家出 深夜徘徊 いじめ その他()	

3 その他 (検討事項や確認などがあれば記入をお願いします)

※提出は、3月19日(金)までをお願いします。分かっている分で大丈夫です。提出後、対応が必要な場合は連絡して下さい。
※教師先生期の不登校児童チェックシートの記入もよろしくをお願いします。
今年度も、ご協力ありがとうございます。

あれ！今何点かな？
こんな時は、スクリーニングを**早急に再チェック**して
点数確認してください。

↓

- 欠席が増えた、または、遅刻や登校時間が遅くなっている。
- 宿題をやってこない、または保護者のサインがない。
- 授業中集中していない、または、手につかない。
- 元気がなく、友達を関わらず1人でいることが増えた。
- 季節関係なく長袖長ズボンで、肌を急に見せなくなった。

「すべての児童に安心・安全」のために…

もし、点数が前日に比べて増えていたり6点以上になっていると重大事案になる可能性があります。このお手簡が、早期発見・早期解決につながる。チェック後、生徒指導部に連絡をお願いします。

スクリーニングシートチェック項目

気になる1点・とても気になる2点

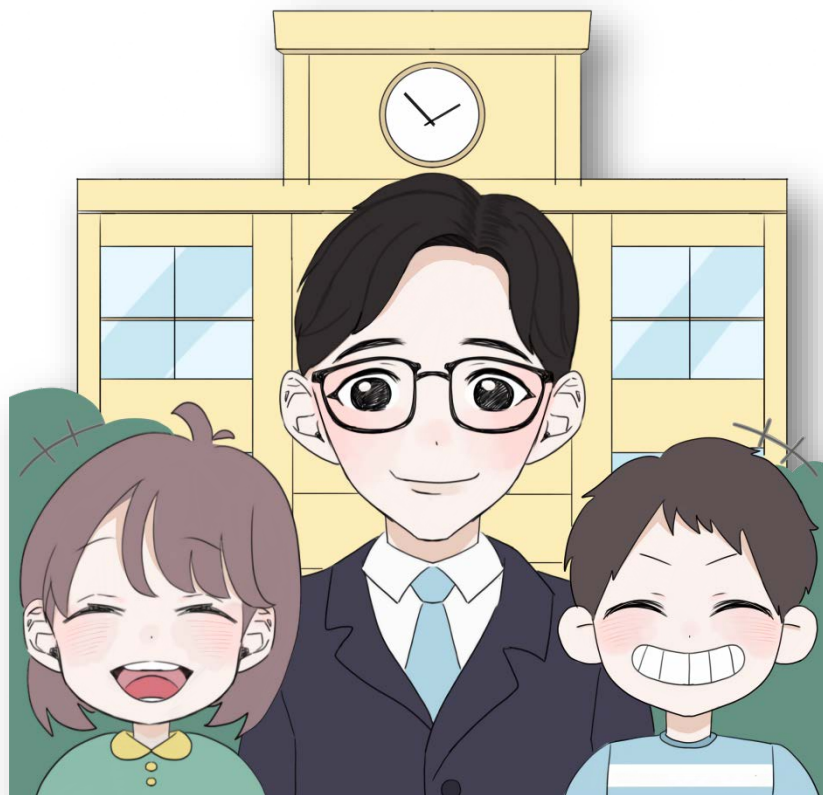
決定事項	その他	進行状況
① (C 専門機関) この家庭の支援が市として可能か調べる。支援方法を検討。(こども未来課)	家庭への支援が入ることに母親の反応は？	
② (C 専門機関) 学校が家庭児童相談室利用の提案。(学校・こども未来課)		
③ (C 専門機関) 登校状況における生徒指導案として、協議を行っていく。(教育委員会)		
① (B 地域資源) 児童館を見てもらい、今後の利用を検討してもらう。お母さん支援にもつながるのでは。(小中アシスト・午後の時間に)	個別の支援を求めている →居場所での対応の難しさ 摂食障害	
② (A 教職員の関与) 検査を受けるよう促す。(学校)		
① (C 専門機関) 学校での面談の際、未来課サポーターにも同席してもらい、母親の相談にのる。(学校・こども未来課)	場面激怒、自閉症スペクトラム・不安障害→特別支援の自閉・情緒 学級希望	
② (B 地域資源) ○クラブ○先生に連絡を取り、学校で相談。(居場所)		

毎月の報告書に点数記入

気になる児童→再チェック

決定事項と進捗状況

スクリーニングを通して
担任ひとりで抱え込まず
学級支援、学年支援、学校支援につなげ
見逃しがちな子供たちや家庭への支援に目を向け
家庭環境に左右されることなく
子供たちの夢や希望を育むチーム学校へ



スクリーニングの取組が
「あの子に、
あの学校に、
あのご家庭に」
支援が届きますように。